様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

専門部会名	第１回	ケアマネジメント部会	
日　　時	平成３１年４月２３日（火）１４時３０分　～１６時１５分		
会　　場	障害者福祉センター大会議室		
出　席　者	部会員　　４名	市職員　　３名	事務局　　５名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍　聴　者	有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし		
報告・検討の内容	①　自己紹介		
	②　前回の振り返り		
	③　障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて		
	④　地域生活支援拠点等の整備について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	１　前回の振り返り ・名古屋商科大学、同朋大学での講義について。 ・地域生活支援拠点説明会の報告。 ２　人材育成や確保について 〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて ・各大学の今年度の講義内容について検討した。 ＜名古屋商科大学＞ ・今年度も講義の依頼があり、2 月 19 日（水）に、中央福祉センター多機能室を押さえた。 （委員） ・名古屋商科大学の学生さんは福祉を身近な話題として捉えるのは難しいと思われるため、3 時間の講義は長すぎるのではないか。15～20 分のガイダンスの後、グループワークをするのはどうか。 （委員）		

	・相模原事件のようなインパクトのある話を題材とする。 ・道の駅を題材にして、どのような機能や構造があればみんなが使いやすいか等、共生社会について一緒に考える。 （委員） ・障害とはどのようなものか等、他大学よりライトな内容。 ・フローチャートで自分の障害傾向を知ってもらう。 （委員） ・障害の特性を知ってもらう機会は必要。 （委員） ・バイト等で当たり前に行っていることが合理的配慮だということを知ってもらい、合理的配慮が難しいことではないことを知ってもらう。 ・障害特性とも合わせて対応方法を考えてもらう。 （委員） ・ロールプレイを行う。 ・乙武さんの例を使って、それぞれの立場（乙武さん、店側）に分かれてディベートを行う。 ・大学スペースや道の駅を題材としてみんなが住みやすいまちづくりを考えてもらう。 ＜同朋大学＞ ・講義は 6 月に予定、体験希望があれば夏休み期間にそれぞれの事業所へ行ってもらう。 （部会で出た意見） ・事業所を紹介できる質問をこちらで用意し、各現場の職員さんに 1 人ずつ答えてもらう。その後、4～5 グループに分かれて座談会を行うのはどうか。 ・同朋大学の学生から日進の事業所への就職もあるかもしれない。次年度以降、部会に参加していない事業所にも声掛けするのはどうか。 → 再度、前回の部会で出た意見も含めて平澤先生にお伝えし、意見を聞くこととなる。 ＜愛知学院大学＞ ・講義、体験の時期を決める必要がある。同朋大学と時期が重なるが、今年度も行うことに。 （部会で出た意見）

	・参加できる話題 ・身近なこと ・様々な特性を持った障害者が働ける場を考える → 部会で出た意見を報告し、次回内容を詰めていく。 ○ 地域生活支援拠点等の整備について ・３月１５日の地域生活支援拠点説明会は１３事業所が参加したが、すべての事業所に説明できたわけではない。まずは知ってもらうことが必要。 （部会で出た意見） ・課題が多岐にわたり満遍なく進めることは難しいため、優先順位をつけるのはどうか。 → 居室確保事業は早急に検討していくべき。 ・登録数が増えないことについて、登録＝義務のイメージなのではないか。まずは連絡先を増やし、各事業所が繋がっているというイメージを持ってほしい。 ・説明会に参加した事業所から、説明会の感想や分からなかった部分を聞き、理解を広げていくのはどうか。	
今回確認事項	①	前回の振り返り
	②	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	③	地域生活支援拠点等の整備について
次回検討課題	①	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	②	地域生活支援拠点等の整備について
	③	その他
次回開催日時	令和元年５月２８日（火）　１４：３０～１６：００	
次回会場	障害者福祉センター　大会議室	

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第１回	ケアマネジメント部会
日　　時	平成３１年４月２３日（火）１４時３０分～１６時１５分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子	②
③　脇本　浩行	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃	④
⑥　改田　真美（欠席）	⑦
⑧　神谷　真里（欠席）	⑦
⑦　堀口　佳子（欠席）	⑦
⑨　熊谷　豊（欠席）	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②　野村　圭一
③　早河　佳世	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの
③　山　歩美	④　山田　紀子
⑤　橋本　花実	⑥

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

専門部会名	第２回	ケアマネジメント部会	
日　　時	令和元年５月２８日（火）１４時３０分　～１６時００分		
会　　場	障害者福祉センター大会議室		
出　席　者	部会員　　７名	市職員　　３名	事務局　　３名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍　聴　者	有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし		
報告・検討の内容	① 前回の振り返り		
	② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて		
	③ 地域生活支援拠点等の整備について		
	④ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	１　前回の振り返り ・名古屋商科大学、同朋大学、愛知学院大学での講義内容について検討した。 ・地域生活支援拠点等の整備について、居室確保事業から検討していくことになった。 ２　人材育成や確保について 〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて ・各大学の今年度の講義内容について検討した。 ＜同朋大学＞ ・講義の日程：平澤先生の集中講義期間である９月４日～６日のうちのどこかで行う。同朋大学まで往復２時間かかるため、午後の早い時間（１３時～１４時頃）に開始できるよう調整する。 （部会で出た意見） ・座談会は５～６人グループが丁度よいのではないか。 ＜愛知学院大学＞		

	・現場体験前の事業所紹介の日程：６月２７日（木）午後。 ・愛歩、あいあいの家、ポレポレは出席可能。レジデンス日進は現場体験の受入れは可能だが事業所紹介の出席が難しいため、事務局で説明を行う。 ・講義の日程：１０月～１１月（木）の午後。 ・毎年、差別解消法の講義を行ってきたが、内容を変えることを辰巳先生に提案したところ、現場の職員さんの話は参考になると思うため内容は任せるということだった。また、福祉関係の学部であるため、障害特性の話の内容は入り口というよりは入門編でお願いしたいということだった。 （部会で出た意見） ・障害特性についても講義ではなくワーク形式で行い、学生と意見交換できる場にしたい。 ・それぞれの障害で起こりうる困った場面を取り上げ、対応を考えるワークを行うのはどうか。ビデオで例をみてもらったり、事前実習での疑問を取り上げたりするのもよい。 ＜名古屋商科大学＞ ・講義の日程：令和２年２月１９日（水）。 （部会で出た意見） ・グループワークの内容について 　・乙武さんの事例 　・日進で実際にあった障害者差別に関する身近な事例 　・グループホーム建設についての反対運動について o 地域生活支援拠点等の整備について ・地域生活支援拠点説明会に参加した事業所からの感想や分からなかった部分について報告をしていただく。 ・４事業所に聞いたところ、４事業所とも理解はできた・面的整備にも協力したいという返答がもらえた。 ・登録については２事業所が検討したい、２事業所が難しいということだった。 ・検討したいと返答をいただいた生活介護事業所では、通所している利用者さんがショートステイを利用できない時は、実際に、実費で宿泊してもらっている。 ・対応できないと返答をいただいた事業所では、大家さんとの契約で夜間は事業所を利用できない。 （質問や意見） ・入浴施設がなくても良いか？

	→ 問題ない。 ・夜間、必ず支援員が対応する必要があるのか？ → サービス管理責任者でもよい。 ・日中活動まで見ることができない。 ・日中活動の対応にもお金をつけてほしい。 ・重度の方の対応が心配。 （部会で出た意見） ・知っている子どもなら事業所ではなく自宅で預かりたいが、法人として受ける必要があるため制度的に難しい。 ・今後、居室確保事業の登録事業所が増えた時に一斉に連絡を取れる体制が必要。また、ネットワークづくりや情報共有もできるとよい。 ・アセスメントシートについて、感染症等の健康診断情報は把握したい。 → 次回、連絡体制とアセスメントシートについて検討を行う。
今回確認事項	① 前回の振り返り ② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて ③ 地域生活支援拠点等の整備について
次回検討課題	① 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて ② 地域生活支援拠点等の整備について ③ その他
次回開催日時	令和元年６月２５日（火）　１４：３０～１６：００
次回会場	障害者福祉センター　大会議室

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第２回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和元年５月２８日（火）１４時３０分～１６時００分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子	②
③　脇本　浩行	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃（欠席）	④
⑥　改田　真美	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子	⑦
⑨　熊谷　豊	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②　野村　圭一
③　早河　佳世	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの
③　橋本　花実	④

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

専門部会名	第３回	ケアマネジメント部会	
日　　時	令和元年６月２５日（火）１４時３０分　～１６時２０分		
会　　場	障害者福祉センター大会議室		
出　席　者	部会員　　７名	市職員　　３名	事務局　　３名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍　聴　者	有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし		
報告・検討の内容	① 前回の振り返り		
	② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて		
	③ 地域生活支援拠点等の整備について		
	④ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	１　前回の振り返り ・名古屋商科大学、同朋大学、愛知学院大学での講義内容について検討した。 ・地域生活支援拠点等の整備について、居室確保事業登録事業所の連絡体制とアセスメントシートについて検討を行っていく。 ２　人材育成や確保について 〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて ・各大学の今年度の講義内容について検討した。 ＜同朋大学＞ ・講義の日程：９月４日（水）１３：００～１５：００に決定。 ・座談会には部会員や当日参加する事業所職員が１人ずつ入る。 ・駐車場の確保をお願いできるか確認し、できなければ乗り合わせで行く。 ＜愛知学院大学＞ ・６月２７日の現場体験前の事業所紹介は興梠さん（愛歩）、堀口		

	さん（あいあいの家）、田中さん（ゆったり工房）で行う。他の事業所は事務局で説明を行う。 ・現場体験の後、振り返りの時間を設けられるとよい。 ・現場で体験したことを講義に繋げられるとよい。不思議に思ったこと、困ったこと、建物や職員の声掛け等で聞いてみたいことを振り返ることができるよう、現場体験後にアンケートを書いてもらう。 ・講義では疑問に思ったことを学生から発信してもらえるとよい。 ・現場体験の際、疑問に思ったことを写真に撮ってもらう等して、グループワークで提供してもらえば、他の事業所に行った学生さんにも色々な事業所のことを知ってもらえる。 → グループワークでは異なる事業所で体験した学生が入るように組めるとよい。 ・利用者さんが写っている動画や写真の提供は難しいが、ついたて等の環境設定がわかる写真を事業所で撮ることはできる。 ＜名古屋商科大学＞ ・今年度は午前中に ASNi さんの講義を行い、午後から日進市図書館・愛歩の見学、ケアマネ部会の講義を行う。 ・グループワークは午前中の図書館・事業所見学に関連したテーマでできるとよい。 o 地域生活支援拠点等の整備について ・アセスメントシートについて、緊急時にたくさんの情報を確認するのは難しいため、A4 用紙 1 ページに収まるくらいの情報量にしたい。 （委員） ・レジデンス日進では短期入所の際、アレルギーや薬の情報を確認している。 （委員） ・知多市では短期入所を受けるための、統一したアセスメントシートがある。→ 内容を確認してもらうことに。 ・豊明市ではホテルを居室とする案や、自宅にヘルパーが泊まる案が出ている。 ・東郷町では、緊急時の受け入れ事業について、事業所で対応する支援者が 2 人以上での対応を想定し、助成金が支給される仕組みになっている。
今回確認事項	① 前回の振り返り

	②	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	③	地域生活支援拠点等の整備について
次回検討課題	①	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	②	地域生活支援拠点等の整備について
	③	その他
次回開催日時	令和元年７月２３日（火）　１４：３０～１６：００	
次回会場	障害者福祉センター　大会議室	

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第３回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和元年６月２５日（火）１４時３０分～１６時２０分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子	②
③　脇本　浩行	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃	④
⑥　改田　真美	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子	⑦
⑨　熊谷　豊（欠席）	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②　野村　圭一
③　早河　佳世	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの
③　橋本　花実	④

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

専門部会名	第４回	ケアマネジメント部会	
日　　時	令和元年７月２３日（火）１４時３０分　～１６時００分		
会　　場	障害者福祉センター大会議室		
出　席　者	部会員　　３名	市職員　　２名	事務局　　３名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍　聴　者	有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし		
報告・検討の内容	① 前回の振り返り		
	② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて		
	③ 地域生活支援拠点等の整備について		
	④ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	１　前回の振り返り ・同朋大学、愛知学院大学、名古屋商科大学での講義内容について検討した。 ２　人材育成や確保について 〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて ・各大学の今年度の講義内容について検討した。 ＜愛知学院大学＞ ・現場体験は実人数２８人が参加する予定。多くて３事業所の現場体験に参加する学生がいる。 ・学生には社協のボランティア保険に加入してもらう。 ・朝６時の時点で暴風警報が出ていたら、現場体験は中止とする。警報が出ているか学生各々に確認してもらい、判断してもらう。中止の場合は他の日に振り替える。 ・現場体験後のレポートは事前に先生から学生に渡してもらう。念のため、事業所にもメールでレポート用紙を送る。現場体験後、その場で記入してもらい、回収する。		

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">＜同朋大学＞
・参加する学生は基本２年生。その他、３～４年生が少数参加。ソーシャルワークの勉強をしている学生が参加する。
・座談会の司会、書記、発表者は予め学生に決めておいてもらう。
・事業所の紹介や仕事に就いたきっかけ等の話は、各事業所５～１０分で行う。１０分でベルを鳴らす。
・事業所の紹介に時間を取られないよう、各事業所の活動内容等をまとめて配れるとよい。
・座談会前のアンケートの記入時間が５分しかない。アンケートは各事業所のお話に対しての質問なのか？そうでなければ事前に質問を書いておいてもらったらどうか？
→ 自立支援協議会後、平澤先生と打ち合わせを行う。

○ 地域生活支援拠点等の整備について
・相談支援にない情報を取る時に必要な情報を検討し、９月頃を目途にアセスメントシートを形にしたい。
・大谷さんより知多市では短期入所を受けるための、統一したアセスメントシートがあると情報提供があったが、知多市に確認したところ、検討しなければとは思っているが今のところ共通様式はないということだった。
（部会で出た意見）
・建物は貸し出せるが、ヘルパーは当番制にしてもらえるとよい。
・受けるか受けないかを決める際、アセスメントシートだけではなく、登録事業所が集まって３０分でも打ち合わせができると安心。
・全く知らない人を１人で預かるのは不安なので、夜間、何かあればセンター等に相談できると安心。

＜アセスメントシートに欲しい情報＞
・氏名、性別、生年月日、住所、連絡先、緊急連絡先
・どうして預かる状況になっているのか
・ADL について（トイレ、食事等）
・寝るところ（ベッド、布団でないと寝られない等）
・コミュニケーション手段</td></tr>
<tr><td rowspan="3">今回確認事項</td><td>①</td><td>前回の振り返り</td></tr>
<tr><td>②</td><td>障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて</td></tr>
<tr><td>③</td><td>地域生活支援拠点等の整備について</td></tr>
</table>

次回検討課題	①	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	②	地域生活支援拠点等の整備について
	③	その他
次回開催日時	令和元年８月２７日（火）　１４：３０～１６：００	
次回会場	障害者福祉センター　大会議室	

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第４回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和元年７月２３日（火）１４時３０分～１６時００分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子（欠席）	②
③　脇本　浩行（欠席）	②
④　興梠　精視（欠席）	③
⑤　田中　美保乃	④
⑥　改田　真美	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子（欠席）	⑦
⑨　熊谷　豊（欠席）	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②　野村　圭一
③	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの
③　橋本　花実	④

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

専門部会名	第５回	ケアマネジメント部会	
日　　時	令和元年８月２７日（火）１４時３０分　～１６時００分		
会　　場	障害者福祉センター大会議室		
出　席　者	部会員　　７名	市職員　　１名	事務局　　３名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍　聴　者	有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし		
報告・検討の内容	①　前回の振り返り		
	②　第１回障害者自立支援協議会について		
	③　障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて		
	④　地域生活支援拠点等の整備について		
	⑤　その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	１　前回の振り返り ・同朋大学、愛知学院大学での講義内容について検討した。 ・アセスメントシートの内容について検討した。 ２　第１回障害者自立支援協議会について ・梅村さんより専門部会活動報告、今後の取り組みについての報告を行う。 ３　人材育成や確保について 〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて ・各大学の今年度の講義内容について検討した。 ＜愛知学院大学＞ ・現場体験について （愛歩） ・食事場面も見てもらったが、ビデオで見たことはあっても実際		

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">に見るのは初めてという学生さんもいて、興味を持ってくれた。言語聴覚士を目指している学生さんなので、嚥下のことが知れて勉強になった。
（ゆったり工房）
・精神障害の方に出会うのは初めての学生さんがほとんどで、「もっとピリピリしていると思っていたが意外と明るい」という感想を持ってもらえた。
（ポレポレ）
・普段と違う雰囲気でいい刺激になった。
（レジデンス日進）
・障害特性や合理的配慮に関してみてもらうことができた。全ての学生さんからコミュニケーションを取るのが難しかったという感想が聞かれた。
（あいあいの家）
・利用者さんの言葉を聞き取れず落ち込む学生さんがいた。
（すくすく園）
・事前にレポートを渡していたこともあり、感想をびっしり書いてもらうことができた。

＜同朋大学＞
・9 月 4 日の講義について
・アンケートは各事業所のお話で聞きたいことを、休憩時間中に書いてもらい、座談会で質問・意見交換してもらう。
・パンフレットは当日配布する。
・興梠さんにはオブザーバーとして全グループを見ていただき、その他の参加者でグループに入る。

○ 地域生活支援拠点等の整備について
＜アセスメントシートに欲しい情報＞
・血液型
・パニック、自傷他害についても枠を作る
・好きなもの、嫌いなもの
・詳細を裏面に書けるよう A4 両面 1 枚にする</td></tr>
<tr><td rowspan="4">今回確認事項</td><td>①</td><td>前回の振り返り</td></tr>
<tr><td>②</td><td>第 1 回障害者自立支援協議会について</td></tr>
<tr><td>③</td><td>障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて</td></tr>
<tr><td>④</td><td>地域生活支援拠点等の整備について</td></tr>
</table>

次回検討課題	①	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	②	地域生活支援拠点等の整備について
	③	その他
次回開催日時	令和元年９月２４日（火）　１４：３０～１６：００	
次回会場	障害者福祉センター　大会議室	

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第５回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和元年８月２７日（火）１４時３０分～１６時００分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子	②
③　脇本　浩行	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃	④
⑥　改田　真美	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子	⑦
⑨　熊谷　豊（欠席）	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②
③	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの
③　橋本　花実	④

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

<table>
<tr><td>専門部会名</td><td>第６回</td><td colspan="3">ケアマネジメント部会</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td colspan="4">令和元年９月２４日（火）１４時３０分　～１５時４５分</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td colspan="4">障害者福祉センター大会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出　席　者</td><td>部会員　　６名</td><td>市職員　　２名</td><td colspan="2">事務局　　３名</td></tr>
<tr><td colspan="4">※ 出席者名簿は、別添のとおり</td></tr>
<tr><td>傍　聴　者</td><td colspan="4">有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">報告・検討の内容</td><td colspan="4">① 前回の振り返り</td></tr>
<tr><td colspan="4">② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて</td></tr>
<tr><td colspan="4">③ 地域生活支援拠点等の整備について</td></tr>
<tr><td colspan="4">④ その他</td></tr>
<tr><td>提出資料</td><td colspan="4">別添のとおり</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="4">１　前回の振り返り
・事務局より第１回障害者自立支援協議会の報告があった。
・愛知学院大学の現場体験の感想、同朋大学での講義内容について検討した。
・アセスメントシートの内容について検討した。

２　人材育成や確保について
〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて
＜同朋大学＞
・9 月 4 日の講義の振り返りを行った。
・最初の事業所紹介や仕事に就いたきっかけ等のお話は 30 分程で終了したため、余った時間で各事業所が行っている事業の紹介を行った。
・学生からは、「利用者に寄り沿うことが大切だと思った」「福祉も進路に含めたい」といった感想が聞かれた。
→ 今後、平澤先生より、講義のどの部分が参考になったか伺うこととなる。</td></tr>
</table>

	＜愛知学院大学＞ ・講義内容について検討を行った。 ・同じ事業所の現場体験に参加していない学生同士で報告・共有するのは難しいため、同事業所の現場体験をした学生で話せるようにグループを分ける。 ・グループワークでは現場体験で疑問に思ったことや対応に困ったことを共有し、その中からグループで検討することを一つ決め、対応策を考えてもらう。(グループワークではそのグループのメンバーの感想のみ載せたものを配る) ・どんな対応をしたのか、なぜその対応をしたのか等、話し合いのフォーマットを作って流れを示すとわかりやすい。手順を書いたワークシートを作り、学生だけで取り組めるようにできるとよい。 ・すくすく園とおひさまルームの体験に参加した学生の感想には、障害特性によって起こる行動への対応に困ったことと、障害のない子どもにも当てはまることが混ざっているため、そこを線引きしてあげる必要がある。 ・学生主体で進めてもらうが、部会員は、どのような話しの流れで結論に至ったのかを知っておけるとよい。 ・グループワーク後、各グループで考えたことを発表してもらう。その内容を踏まえて、講義では各事業所の職員からコメントする。様々な事業所の話を聞くことで、障害特性や特性に応じた合理的配慮について知ってもらえるとよい。 ○ 地域生活支援拠点等の整備について ＜アセスメントシートに欲しい情報＞ ・パニック、自傷他害が起こった時の対応 ・寝る時間、起きる時間等の基本的な生活習慣 ・普段、利用している福祉サービスや外出先 ・裏面の補足情報の欄を小さくする（補足でたくさん書くより、決まった枠組みで記入していく方が良い） ・題名を居室確保事業のアセスメントシートだとわかるものにする	
今回確認事項	①	前回の振り返り
	②	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	③	地域生活支援拠点等の整備について

次回検討課題	①	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	②	地域生活支援拠点等の整備について
	③	その他
次回開催日時	令和元年１０月３０日（水）　１４：３０～１６：００	
次回会場	障害者福祉センター　大会議室	

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第６回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和元年９月２４日（火）１４時３０分～１５時４５分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子	②
③　脇本　浩行	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃（欠席）	④
⑥　改田　真美（欠席）	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子	⑦
⑨　熊谷　豊	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②　野村　圭一
③	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの
③　橋本　花実	④

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

専門部会名	第７回	ケアマネジメント部会	
日　　時	令和元年１０月３０日（水）１４時３０分　～１６時１５分		
会　　場	障害者福祉センター大会議室		
出　席　者	部会員　　８名	市職員　　１名	事務局　　２名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍　聴　者	有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし		
報告・検討の内容	① 前回の振り返り		
	② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて		
	③ 地域生活支援拠点等の整備について		
	④ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	１　前回の振り返り ・同朋大学での講義、愛知学院大学の現場体験と講義の振り返り。 ・アセスメントシートの内容について検討。 ２　人材育成や確保について 〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて ＜愛知学院大学＞ ・グループワークでは同事業所の現場体験をした学生同士でグループを組み、その事業所の部会員がグループに入り、ファシリテーターとなる（部会員は事前に学生の感想に目を通しておく）。 ・まず、一人一つずつ事例を出してもらい、グループで討議する事例を一つに絞る。 ・当日はグループのメンバーの感想のみ載せたものを配る（名前は入れない）。 ・フォーマットはＩ・Ｐ法による事例検討用ワークシートをわかりやすく手直ししたものを使用する。 ・グループで討議した内容はＢ紙に記入してもらい、発表の際、		

	使用する。 ・グループワークの内容は事前に先生に伝えておく。 ○ 地域生活支援拠点等の整備について ・居室確保事業登録事業所は、ゆったり工房さんを入れて 4 事業所となった。今後、センターと介護福祉課で居室確保事業の説明に伺う（前回の説明会で興味を示された友優、クルーサの 2 か所。ポレポレは訪問済み）。 ・アセスメントシートは相談員が記入し、事業所が受け入れの可否を判断するもの。FAX 等で送る時は名前を伏せて送る。 ・宿泊できる場所があり、そこに支援者が行く方法がやりやすい。 ・放課後等デイサービスでの受け入れについて、あいあいの家では、鍵を開けて出て行ってしまう恐れがあったため断った。届かない所に鍵をかける設備がないと難しい。 ・身体拘束の期間や方法等を記載した同意書がほしい。 ・けがをした場合などの保険はどうするのか。 ・宿泊体験はできないか。あいあいの家では大人 3 名対子ども 1 名で行ったことがある。よく知っている子どもを 3 名で対応したため、急に全く知らない方を 1 対 1 で見るのは不安。 ・居室確保事業について、保護者や支援者に周知が必要。 ・宿泊にかかった費用のうち、助成金で負担できない分は、登録事業所で金額を統一して利用者から徴収できないか。 → 登録事業所が増えたら、アセスメントシートの活用方法や連絡体制、宿泊体験の進め方を検討していく。 ・次回、今後部会で取り組む内容について検討する。
今回確認事項	① 前回の振り返り
	② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	③ 地域生活支援拠点等の整備について
次回検討課題	① 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	② 地域生活支援拠点等の整備について
	③ その他
次回開催日時	令和元年１１月２６日（火）　１４：３０～１６：００

次回会場	障害者福祉センター　大会議室

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第７回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和元年１０月３０日（水）１４時３０分～１６時１５分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子	②
③　脇本　浩行	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃	④
⑥　改田　真美	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子	⑦
⑨　熊谷　豊	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②
③	

（事務局）

①　梅村　英子	②　橋本　花実
③	④

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

<table>
<tr><td>専門部会名</td><td>第８回</td><td colspan="3">ケアマネジメント部会</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td colspan="4">令和元年１１月２８日（木）１３時３０分　～１５時２０分</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td colspan="4">障害者福祉センター大会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出　席　者</td><td>部会員　　６名</td><td colspan="2">市職員　　３名</td><td>事務局　　３名</td></tr>
<tr><td colspan="4">※ 出席者名簿は、別添のとおり</td></tr>
<tr><td>傍　聴　者</td><td colspan="4">有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">報告・検討の内容</td><td colspan="4">① 前回の振り返り</td></tr>
<tr><td colspan="4">② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて</td></tr>
<tr><td colspan="4">③ 地域生活支援拠点等の整備について</td></tr>
<tr><td colspan="4">④ その他</td></tr>
<tr><td>提出資料</td><td colspan="4">別添のとおり</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="4">１　前回の振り返り
・愛知学院大学の講義内容の検討。
・居室確保事業について検討。

２　人材育成や確保について
〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて
＜愛知学院大学＞
・11 月 14 日の講義の振り返りを行う。
・現場体験は 27 名の学生が参加したが、講義は体調不良の学生もいたため 24 名が参加。6 事業所 4 名ずつでグループワーク実施。
・学生さんが事例検討に慣れていなかったこともあり、グループワークは予定より時間がかかり、3 時間半となった。
・アンケートでは全ての学生が「良かった」と回答（グループワーク参加者の内 4 名はアンケート提出なし）。事例検討が初めてだった、話し合うことで対応方法を考えられたという感想が多かった。
・先生からは来年度もお願いしたいと依頼があった。</td></tr>
</table>

	（委員） ・テーマ：質問攻めする人への対応 ・学生さんにとってインシデントプロセス法は難しかったようだが、一つの場面を取り上げて対応を考えられたため良かったと思う。 ・どんどん意見を出してくれて、やる気があり、刺激になった。 （委員） ・テーマ：同じ質問を何度もする人への対応 ・体験は一日のみだったわりに利用者の名前や特徴を覚えてくれていた。 ・メンバーの中で困った場面が同じだったため、テーマはスムーズに決まった。 ・前向きにいろいろな意見を出してくれて、勉強されている印象を受けた。 （委員） ・テーマ：おやつの時間に来ない子どもへの対応 ・4 人のうち 3 人が、障害特性によっておこる行動と障害のない子どもにも当てはまる行動が混ざっていたため、障害特性について考えるよう促した。 ・意見が多数決で決まりそうになったため介入した。 ・一生懸命考えていたが、8 月の体験から 11 月まで期間が空いたため、もう少し早めにグループワークができるとよい。 （委員） ・テーマ：その席に座ってはいけないという利用者さんと、座っていいよと言う利用者さん、どう行動すればよかったか。 ・対処方法を考えるのが難しかった。 ・真面目に取り組んでくれていた。 （委員） ・テーマ：他者の物を投げる子どもへの対応 ・協力して考えていた。 （委員） ・予想よりグループワークに時間がかかったため、来年度も行うなら、様式を直した方が良いかもしれない。 ＜名古屋商科大学＞ ・講義日程：令和 2 年 2 月 19 日の予定だったが、小串先生から

	2月4日に変更の依頼があった。 ・ケアマネ部会での講義は半日（午後）とお伝えしたところ、午前中は小串先生が講義をされるとのこと。 ・内容について愛歩、図書館の見学を受けてのグループワークを行うことを提案したが、熊谷先生の差別解消法の講義、車いす体験、図書館見学をお願いしたいということだった。 → 部会での協力は午後からとお伝えしたため愛歩の見学依頼はなかったが、希望があれば午後からでも見学できる旨、伝えることに。 当日、ご協力いただける部会員は参加いただく。 ○ 地域生活支援拠点等の整備について ・居室確保事業を行った際の保険について、施設賠償保険に「日進市居室確保事業を行う」という旨を一文加えることで保険適用できる。 ・利用者から宿泊費用を徴収できないと、登録事業所が増えにくい。年会費を集めてプールしておくのはどうか。 ・支援区分ごとに加算するのはどうか。 ・きっちりお金を取るか、ボランティアか。 ・居室確保事業について要望書のような書類にまとめた方が良いか？ → 何らかの形で書類になっていた方が良い。関係する人で集まって意見を出せるとよい。 ・親としては親亡き後の行き場の心配が大きい。親の要望としては365日、24時間連絡がついて預かってくれること。 ・短期入所先を増やせないか。 → 人材確保が難しい。 ・居室確保事業を利用するために事前に知っておきたい情報を親に知ってもらうことで、採血等できないことがあれば練習してくれるかもしれない。親向けの勉強会や啓蒙活動をするのはどうか。 ・世話人養成講座について、講座を受けても、どの事業所に行けばよいかわからない。講座はグループホームを持っている事業所が一緒に行うべき。 ・世話人だけでなく、福祉の仕事全般を紹介する方法もある。 ・終の棲家なら自宅も考えられるため、ヘルパーも増やす必要がある。
今回確認事項	① 前回の振り返り

	②	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	③	地域生活支援拠点等の整備について
次回検討課題	①	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	②	地域生活支援拠点等の整備について
	③	その他
次回開催日時	令和元年１２月２４日（火）　１４：３０～１６：００	
次回会場	障害者福祉センター　大会議室	

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第８回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和元年１１月２８日（木）１３時３０分～１５時２０分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子	②
③　脇本　浩行	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃	④
⑥　改田　真美（欠席）	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子	⑦
⑨　熊谷　豊（欠席）	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②　野村　圭一
③　早河　佳世	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの
③　橋本　花実	④

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

<table>
<tr><td>専門部会名</td><td>第９回</td><td colspan="3">ケアマネジメント部会</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td colspan="4">令和元年１２月２４日（火）１４時３０分　～１６時００分</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td colspan="4">障害者福祉センター大会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出　席　者</td><td>部会員　　６名</td><td colspan="2">市職員　　１名</td><td>事務局　　２名</td></tr>
<tr><td colspan="4">※ 出席者名簿は、別添のとおり</td></tr>
<tr><td>傍　聴　者</td><td colspan="4">有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">報告・検討の内容</td><td colspan="4">① 前回の振り返り</td></tr>
<tr><td colspan="4">② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて</td></tr>
<tr><td colspan="4">③ 地域生活支援拠点等の整備について</td></tr>
<tr><td colspan="4">④ その他</td></tr>
<tr><td>提出資料</td><td colspan="4">別添のとおり</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="4">１　前回の振り返り
・愛知学院大学での講義の振り返り。
・名古屋商科大学での講義について。
・居室確保事業について検討。

２　人材育成や確保について
〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて
＜名古屋商科大学＞
・講義日程：令和２年２月４日（火）午後２時～4 時半
・場所：中央福祉センター多機能室南北
・内容：熊谷さんの障害者差別解消法の講義、グループワークで２ 時間半程度（部会員はファシリテーターとしてグループワークに参加する。）
・中央福祉センター内の車椅子体験と見学は、午前中に社協が協力して実施する。
・今年は福祉行政の講義は行わないこととする。</td></tr>
</table>

	○ 地域生活支援拠点等の整備について ＜緊急時の対応（居室確保事業）＞ （居室確保事業登録事業所の進捗状況） ・介護福祉課とセンターでクルーサ、友優を訪問し、居室確保事業の説明を行った。両事業所とも協力していただけるということで、クルーサは登録書類提出済み、友優は登録予定となっている。 ・クルーサ、友優とも入浴設備はない。 ・SOWHAT が 12 月 16 日から日中一時支援事業を開始している。2 階に 4 人程度、宿泊できるということで 2020 年に居室確保事業開設予定というチラシをいただいているが、介護福祉課に確認したところ、短期入所事業と勘違いされているということだったため、居室確保事業の登録は不確定である。 ・今後、じゃんぐるじむへの訪問を検討している。 （日進市居室確保事業登録事業所等連絡会議（仮称）の設置） ・居室確保事業登録事業所で集まり、課題の意見交換を目的として連絡会議の開催を予定している。 ・参加者は登録事業所と市役所、障害者相談支援センターはどうか。 ・地域生活支援拠点等の整備についての説明、居室確保事業の説明の二部構成で行うことを検討。 → 先に連絡会議のみを行い、ある程度、体制を整えてから説明会を行った方が登録してもらいやすいのではないか。 → 連絡会議を 1～2 月、説明会を 3 月頃の予定で検討する。 ＜人材確保・養成＞ （日進市で不足している人材の養成講座について） ・人材確保は地域生活支援拠点等の整備の項目の 1 つとなっている。 ・みよし市では社会福祉法人あゆみ会がガイドヘルパー養成研修を行っている。年配のヘルパーが増えていることから、移動支援に携わるヘルパーだけでも増やしたいということで開始した。 ・長久手市では平成 30 年から、社協が市の委託を受けて行っている。 ・研修を受けたヘルパーは個人で活動することはできないため、どこかの事業所に登録する必要がある。みよし市で登録して日進市でサービスを提供することはできる。 ・日進市で不足している人材：ヘルパー、世話人、介護福祉士。 ・ガイドヘルパー養成研修は受講者が集まらないのではないか。

	・移動支援は土日に需要が高いため、ターゲットを学生に絞れば集まるのではないか。 ・福祉の仕事は資格が要らないことも多いため、福祉の仕事全般をお知らせするのはどうか。 ・新しく人材を確保するよりも、既に資格を持っている人をターゲットにした方が良いのではないか。 ・資格を持っているが働いていない人向けの研修はどうか。 ・既に雇用している人の離職をなくすためのスキルアップ研修はどうか。	
今回確認事項	①	前回の振り返り
	②	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	③	地域生活支援拠点等の整備について
次回検討課題	①	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	②	地域生活支援拠点等の整備について
	③	その他
次回開催日時	令和２年１月２８日（火）　１４：３０～１６：００	
次回会場	障害者福祉センター　大会議室	

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第９回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和元年１２月２４日（火）１４時３０分～１６時００分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子	②
③　脇本　浩行	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃（欠席）	④
⑥　改田　真美	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子（欠席）	⑦
⑨　熊谷　豊	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮（欠席）	②　野村　圭一（欠席）
③　早河　佳世	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの（欠席）
③　橋本　花実	④

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

専門部会名	第１０回	ケアマネジメント部会	
日　　時	令和２年１月２８日（火）１４時３０分　～１６時００分		
会　　場	障害者福祉センター大会議室		
出　席　者	部会員　　６名	市職員　　３名	事務局　　３名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍　聴　者	有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし		
報告・検討の内容	① 前回の振り返り		
	② 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて		
	③ 地域生活支援拠点等の整備について		
	④ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	１　前回の振り返り ・名古屋商科大学での講義について ・居室確保事業登録事業所について ・居室確保事業登録事業所等連絡会議について ・日進市で不足している人材の養成講座の検討 ２　人材育成や確保について 〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて ＜名古屋商科大学＞ ・4 日間の集中講義のうちの 1 日を社協、ケアマネ部会で担当する。 ・参加する学生が 50 人と多いため、図書館の見学はしない。 ・午前中は梅村さんが対応し、ケアマネ部会としては午後 2 時～午後 4 時半を担当する。 ・午後 2 時までに多機能室北側に集合とする。 ○ 地域生活支援拠点等の整備について ＜緊急時の対応（居室確保事業）＞		

	（居室確保事業登録事業所の進捗状況） ・クルーサ：登録済み。 ・友優：登録予定。 ・じゃんぐるじむ：市、センターで訪問予定。接したことのない方の対応ができるか不安ということだったため、難しければ断ることができること、基本的に面識のある方の受入れでよいことをお伝えした。 （日進市居室確保事業登録事業所等連絡会議（仮称）の設置） ・開催日程：2 月 25 日（火）AM ・利用の流れについては日進市居室確保事業の手引きに記載があるが、登録事業所とのやり取り方法については記載がないため、連絡体制のフロー図を作成した。 ・まず短期入所の調整をした後、利用ができない場合に居室確保事業の利用を検討するという流れが分かるようにした方が良い。 ・相談員から事業所に電話連絡を入れた後、一斉に FAX またはメールを送る流れになっているが、電話連絡には時間がかかるため先に FAX またはメールを送った方が良い。 ・休日でも事業所と連絡が取れるよう、各事業所の代表の方の電話番号、メールアドレスをセンターで把握しておくのはどうか。 ・受入れができる事業所とできない事業所を共有し、事業所同士でやり取りできるとよい。ラインを活用するのはどうか。 ・当事者の基本情報について、氏名や住所をラインに載せるのは不安があるため、ラインで情報提供する段階では年齢、性別のみ記入し、氏名や住所は受け入れ可能な事業所に後から伝える方が良い。 ・居室確保事業の利用が決まった当事者のお迎えは誰が行うか等、役割についても連絡会議で意見がもらえるとよい。 ・居室確保事業の利用には市の許可が必要だが、休日等ですぐに連絡がつかない場合は事後申請でも良いか？ → 一旦は市に連絡がほしいが、事後になっても対応はできる。 ・宿泊は居室確保事業登録事業所しかできないが、日中活動については登録事業所以外でもよいのか？また、登録事業所以外との連絡体制についても検討が必要。 ＜人材確保・養成＞ ・来年度、部会として取り組めそうな研修について意見をいただく。 （委員） ・前回の部会で職員のスキルアップ研修という意見が出ていたが、

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">スキルが足りないことが離職に繋がっているのか？
（委員）
・事前に、他害や行動障害が出る仕組みや対応を学んでおくことで、職員が傷つかずに済む。
（委員）
・働いていると冷静になれないことがある。別の事例を通して客観的に考える機会があるとよい。
（委員）
・かっちりとした研修ではなく、座談会のような形式で日々の出来事を共有できる場があるとよいのではないか。

→ 次回、引き続き、検討していく。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">今回確認事項</td><td>①</td><td>前回の振り返り</td></tr>
<tr><td>②</td><td>障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて</td></tr>
<tr><td>③</td><td>地域生活支援拠点等の整備について</td></tr>
<tr><td rowspan="3">次回検討課題</td><td>①</td><td>障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて</td></tr>
<tr><td>②</td><td>地域生活支援拠点等の整備について</td></tr>
<tr><td>③</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>次回開催日時</td><td colspan="2">令和２年２月２５日（火）　１４：３０～１６：００</td></tr>
<tr><td>次回会場</td><td colspan="2">障害者福祉センター　大会議室</td></tr>
</table>

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第１０回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和２年１月２８日（火）１４時３０分～１６時００分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子	②
③　脇本　浩行	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃	④
⑥　改田　真美	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子（欠席）	⑦
⑨　熊谷　豊（欠席）	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②　野村　圭一
③　早河　佳世	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの
③　橋本　花実	④

様式２

日進市障害者自立支援協議会　専門部会実施報告書

<table>
<tr><td>専門部会名</td><td>第１１回</td><td colspan="3">ケアマネジメント部会</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td colspan="4">令和２年３月２４日（火）１４時３０分　～１６時００分</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td colspan="4">障害者福祉センター大会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出　席　者</td><td>部会員　　３名</td><td>市職員　　３名</td><td colspan="2">事務局　　３名</td></tr>
<tr><td colspan="4">※ 出席者名簿は、別添のとおり</td></tr>
<tr><td>傍　聴　者</td><td colspan="4">有り（　　名：別添名簿のとおり）　・　なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">報告・検討の内容</td><td colspan="4">① 前回の振り返り</td></tr>
<tr><td colspan="4">② 第３回障害者自立支援協議会について</td></tr>
<tr><td colspan="4">③ 障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて</td></tr>
<tr><td colspan="4">④ 地域生活支援拠点等の整備について</td></tr>
<tr><td>提出資料</td><td colspan="4">別添のとおり</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="4">１　前回の振り返り
・名古屋商科大学での講義について
・居室確保事業登録事業所について
・居室確保事業登録事業所等連絡会議について
・日進市で不足している人材の養成講座の検討

２　第３回障害者自立支援協議会について
・今回の協議会では議題を話し合った後、日進市の良い点と課題についてグループワークを行った。
・挙がった課題としては、地区によって病院や事業所の偏りがある、相談支援事業所が少ない、公共交通機関が利用しにくい等。
・最後にグループワークで出た課題を、委員それぞれの立場からどのように取り組んでいけるかについて話し合う予定だったが、時間がなく、課題を出したところで終了している。

３　人材育成や確保について
〇障害福祉分野に関心を高めるための取組みについて</td></tr>
</table>

	＜名古屋商科大学＞ ・2 月 4 日（火）の講義の振り返りを行う。 ・寝ていた学生は少なく、学生同士よく話し合えていた。 ・やまゆり園の殺傷事件等について、今まで関心を持っていなかった学生さんにも知ってもらう機会となってよかった。 → 小串先生から次年度も講義をお願いしたいと伺っているため、依頼があれば協力することに。 ○ 地域生活支援拠点等の整備について ＜緊急時の対応（居室確保事業）＞ （日進市居室確保事業登録事業所等連絡会議について） ・2 月 25 日（火）に連絡会議を実施。受け入れスペースや担当者の確認を行い、居室確保事業についてのご意見をいただいた。未登録ではあるが、登録予定の事業所（ポレポレ、じゃんぐるじむ）にも参加して頂いた。 ・居室確保事業の利用について事業所へ依頼する際、ラインを活用することについては登録事業所から了承が頂けた。ライン登録後、前もって訓練を行った方が良いのではないか。 ・ポレポレは短期入所事業も行っているが、居室確保事業の登録はできるのか？ → 法人内で複数の事業を行っている場合、短期入所以外の事業所も受け皿として登録してもらえるとよい。 ・居室確保事業の周知についての話題も出たが、短期入所は人員が確保されているが、居室確保事業は人員を確保しているわけではない。利用者には積極的に周知するのではなく、まずは短期入所の利用を検討することになる旨を伝える必要があるのではないか。 ・助成金について、1 泊 15000 円となっているが、時間帯を明確にしてほしい。 ・日中活動についても、事業所によって開所時間にばらつきがあるが、基本的な時間帯を決めておけるとよい。 ・助成金で足りない分は、事業所一律で負担額を決め、利用者に負担してもらうのはどうか。宿泊に必要な費用を利用者にも意識してもらいたい。 ・基準額の 1 割を自己負担額とし、基準額を超えた分は利用者に負担してもらうのはどうか。 ・支援者一人では対応できないケースもあるが、支援者が複数人になった場合の助成金はどうなるのか。 ・ボランティアでは続けていけないため、責任をもって対応するためには、ある程度、枠組みを作っておく必要がある。 ・実際に、緊急的な短期入所の利用はどのくらいの頻度であるの

	か？ → 年１回程度。	
今回確認事項	①	前回の振り返り
	②	第３回障害者自立支援協議会について
	③	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	④	地域生活支援拠点等の整備について
次回検討課題	①	障害福祉分野に関心を高めるための取り組みについて
	②	地域生活支援拠点等の整備について
	③	その他
次回開催日時	令和２年４月２８日（火）　１４：３０～１６：００	
次回会場	障害者福祉センター　大会議室	

日進市障害者自立支援協議会　専門部会出席者名簿

専門部会名	第１１回	ケアマネジメント部会
日　　時	令和２年３月２４日（火）１４時３０分～１６時００分	
会　　場	障害者福祉センター　大会議室	

専門部会員	その他参加者
①　梶浦　慶子（欠席）	②
③　脇本　浩行（欠席）	②
④　興梠　精視	③
⑤　田中　美保乃	④
⑥　改田　真美（欠席）	⑦
⑧　神谷　真里	⑦
⑦　堀口　佳子（欠席）	⑦
⑨　熊谷　豊（欠席）	⑩

（市職員）

①　稲葉　亮	②　野村　圭一
③　早河　佳世	

（事務局）

①　梅村　英子	②　西岡　きくの
③　橋本　花実	④